

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英会話(advanced)	NLA12_003	選択	1	1・2・3・4	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
風間 絢日	415	ayaka.kazama	火曜日 14:30~16:00		
授業の目的・概要	英会話の授業で習得したコミュニケーションスキルを、様々なシチュエーションにおいて運用するための力を身に着ける。また、英語でのコミュニケーションでよく用いられるフレーズなどを使いこなす能力を習得する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デバート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	コミュニケーション力の向上のためには実際に会話をすることが重要となる。授業に積極的に参加することはもちろん、クラス外でも意識的に英語を使うことで英会話力をつけることができる。				
教科書	Complete Communication Book 2 -Intermediate-/著: James Bury, Anthony Sellick, 堀内香織/成美堂/2022				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	積極的に英語でコミュニケーションをとる態度を身に着けている。		HSU(2)(5)(6).NS(2)(5)		
②	多様なトピックに関し英語でコミュニケーションをとることができる。		HSU(2)(5)(6).NS(2)(5)		
③	英会話でよく用いられるフレーズを使いこなすことができる。		HSU(2)(5)(6).NS(2)(5)		
④	シチュエーションに応じ適切な受け答えをすることができる。		HSU(2)(5)(6).NS(2)(5)		
⑤	習得した語彙や表現を活用して英語でコミュニケーションをとることができる。		HSU(2)(5)(6).NS(2)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ガイダンスと Unit 1: Introducing Yourself	講義	教科書 Unit 1 を予習し知らない単語等を調べておく。	1	
2	Unit 2: Talking about Hobbies and Interests	講義	教科書 Unit 1 の復習をし Unit 2 の予習をする。	1	
3	Unit 3: Talking about Friends and Family	講義	教科書 Unit 2 の復習をし Unit 3 の予習をする。	1	
4	Unit 4: Talking about Movies and TV	講義	教科書 Unit 3 の復習をし Unit 4 の予習をする。	1	
5	Unit 5: Talking about Music	講義	教科書 Unit 4 の復習をし Unit 5 の予習をする。	1	
6	Unit 6: Talking about Books	講義	教科書 Unit 5 の復習をし Unit 6 の予習をする。	1	
7	Unit 7: Talking about Food	講義	教科書 Unit 6 の復習をし Unit 7 の予習をする。	1	
8	Unit 8: Talking about Health	講義	教科書 Unit 7 の復習をし Unit 8 の予習をする。	1	
9	Unit 9: Talking about Illness	講義	教科書 Unit 8 の復習をし Unit 9 の予習をする。	1	
10	Unit 10: Talking about Culture	講義	教科書 Unit 9 の復習をし Unit 10 の予習をする。	1	
11	Unit 11: Talking about Holidays and Festivals	講義	教科書 Unit 10 の復習をし Unit 11 の予習をする。	1	
12	Unit 12: Talking about Travel and Vacations	講義	教科書 Unit 11 の復習をし Unit 12 の予習をする。	1	
13	Unit 13: Talking about Experiences	講義	教科書 Unit 12 の復習をし Unit 13 の予習をする。	1	
14	Unit 14: Talking about Work and Jobs	講義	教科書 Unit 13 の復習をし Unit 14 の予習をする。	1	
15	Unit 15: Talking about Future Plans	講義	教科書 Unit 14 の復習をし Unit 15 の予習をする。	1	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

		達成度評価					
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	50	100
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	10	40
	協働性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	30
	コミュニケーション力	20	0	0	0	10	30
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①		学期末に授業で学んだ語彙や表現を問う試験を行い、授業内容が習得できているか評価を行う。	試験の評価			
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	単に出席するだけでなく、積極的に授業に臨む姿勢が求められる。授業中の態度や参加度も評価の対象となる。	授業内の教員によるコメントおよび助言			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教 員 の 実 務 経 験	カナダの大学にて学位取得、タイの大学の英語プログラムにて修士課程を修了した後、外国人患者を多く受け入れるタイの私立総合病院にて8年間勤務し、医療コーディネーション業務などを行う。日本帰国後は大学にて語学試験対策や英語学習の指導などに従事するとともに多文化共生活動や医療通訳者の育成・普及活動に携わる。						
実践的授業の内容	英語教授と海外での経験を活かし、英語でコミュニケーションにおいて様々なトピックについて適切な受け答えができる能力が身につくような授業を目指した講義を実施する。						
そ の 他	英語によるコミュニケーションへの積極性や授業への参加度も評価の対象となるため、授業への出席や積極的な参加が重要となる。教室内でのスマートフォンやアプリの使用は禁止する。日常的に英語に触れることで英語力を高めることができるので、毎日英語に触れる機会を作ることが望ましい。						